



ZENFUREN

2014年10月3・4日

号外

全国国立大学附属学校連盟
全国国立大学附属学校 PTA 連合会
〒105-0001 港区虎ノ門 1-2-29
虎ノ門産業ビル 8F
TEL : 03-3591-2091
FAX : 03-3591-2092

全附P連PTA研修会 第5回全国大会

テーマ別分科会 子どもたちの笑顔のために 佐藤弘道氏

私たち保護者と子どもたちのアイドル、ひろみちお兄さん。運動とスポーツの違いをお話しされ、親はスポーツと同じようにルールの中で子育てをしがちであることを示唆。子育ては家庭・学校・地域のバランスの良い連携の大切さが必要なことを実感。



「こんにちはー♪」

テレビで聞き慣れていた元気な声と一緒に、鮮やかなオレンジ色のジャージで会場に登場された“ひろみちお兄さん”こと、佐藤弘道さん。私たち保護者、そしてその子どもたち世代のアイドル、NHK「おかあさんといっしょ」10代目体操のお兄さんです。

参加者の皆さんと一緒に体を動かし、参加者同士のコミュニケーションを図ることから講演が始まりました。

「どうして運動嫌いの子どもがいるのか..」

まず初めに運動とスポーツの違いについて話されました。

運動とは？… 自分のペースで出来るもの。(個) ルールがない。

スポーツとは？… 相手と競う特別なもの。(集団) ルールがある。

親はついつい“ルール”という枠の中で、子どもを育てようとしてしまいがちです。子どもを小さい時から“ルール”という枠の中で育てようとする、苦手意識が付き運動嫌いになる可能性が高いそうです。運動もスポーツも“遊び”というベースがあってのものです。どれだけ子どもたちの遊びの枠を広げられるか、またのびのび育てられるかということを中心に掛けながら、子育てをしていきたいと思いました。



長崎大学教育学部附属小学校
PTA 党 貴子 取材

健康3原則という、皆さんは何を思い浮かべますか？

健康であるためには、運動・睡眠・食事が大事だと言われています。この中でも行動に移すことが難しいのが運動です。「眠たい!」・「お腹がすいた!」と思っても、「運動したい!」とは、なかなか思わないのではないのでしょうか。そのため運動を行う時には、計画と実行するという強い意志が重要になってきます。

子育てにおける3原則は、「家庭・学校・地域」です。家庭では躰の大事さ、学校では集団教育を学び、そして地域の方々とのつながりを大事にして社会性を身につける、いずれもバランスが大事なことを学ばせていただきました。

佐藤さんご自身が、お子さまを附属校園に通わせ、また育友会会長の経験がある保護者です。

同じ保護者として身近な存在でいらっしゃるのと同時に、一言一句とても心に染み入るお話でした。終始、笑顔と笑いに包まれた90分間。その中でも強く心に残った言葉があります。それは、子育てをしていくうえで一番重要な、C(コミュニケーション)・B(バランス)・A(愛情)を常に考えるということです。日々の生活の中で、この3つのことを特に意識しながら子育てをしていきたいと思えます。

弘道お兄さん♪素晴らしいご講演をいただき、本当にありがとうございました。